

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	運営に関する職員の意見の反映。 管理者は運営に関する職員の意見は、その都度、話し合いをもうけ反映させている。	管理者は何かあれば、すぐに職員と話し合いをする。また、職員が疑問や気付いたことが話し合えるようにする。	職員の中からリーダー的な人を選び、管理者と職員の合間を密にして、小さなことも話し合い、仕事に反映出来るように取り組んでゆきたい。	6ヶ月
2	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援。 事業所で出来る事、出来ない事を十分に話し合い、説明しながら支援に取り組みたい。	現段階では検討中であるが、早いうちに答を出したい。	事業所としての方針を具体的にし、入居者、家族の希望を調査し、体制を整える。	6ヶ月
3	13	災害や地震、水害等に、昼夜を問わず利用者が避難出来る方法を、全職員が身につけると共に、地域との協力体制を築いていく。	消火、避難訓練を実施。 緊急時にあわてないように、職員がいつでも対応できるよう、消防マニュアルを作って体制を整える。	今後は、あらゆる災害を想定しての訓練を繰り返し実施してゆくこと。 地域の協力体制を構築していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月